

■ 地域産学交流センターの事業内容 この1年

2006年度において、本学地域産学交流センターが実施した事業についてその内容をご紹介します。

1. 柏崎市、柏崎商工会議所との定例会議（平成18年4月スタート）

本学教員と柏崎市内企業との連携をより一層強化することを主な目的として、本学を含めた3機関による定例会議をスタートしました。その結果、市内企業との共同研究がスタートし、下記2～4に示す交流事業も開催されました。

2. ものづくりマイスター・カレッジ開講（平成18年9月6日スタート。場所：本学）

柏崎市、柏崎商工会議所、地元工業界でつくる柏崎技術開発振興協会が開催する基盤技術継承事業の一つとして、開講された同事業に計画段階から参画しました。同事業には、本学教員5名が講師として参加しています。

3. 柏崎・上越産業界と新潟工科大学との産学交流会（平成18年11月24日）

柏崎、上越両市の市内企業との交流を深めるため、合同での産学交流会を開催しました。

4. 柏崎市内企業の見学（平成18年下期）

早い学年から「実際の現場」を見せ、学生の向学心を高めようと機械制御システム工学科1年次生に基礎ゼミの授業内で柏崎市内企業の見学を行いました。

5. 産学連携グループ～柏崎産・官・学コラボ（キガック）の発足

産学連携に熱心な柏崎市内企業と本学がグループを発足し、いろいろな接点を求めて、活動を開始しました。

6. その他の活動

- 柏崎商工会議所工業関係議員との懇談会（平成18年5月24日）
- 県内で開催された産学連携イベントへの出展。

■ 就任のご挨拶

事務局長 和田 充彦

昨年10月から事務局長として務めさせていただいておりますが、前職は県内企業の出先である東京、大阪で25年間仕事をしてまいりました。その後、新潟へ帰任し10年が経過しましたが、この度で縁があり現在は本学勤務とともに柏崎に住まいを移し生活しております。

さて、本学は開学以来12年、「ものづくり重視の工学教育」により「ものづくりのスペシャリスト」を育成し、「学生を育てる力」で全国の国公立を含めた約400大学中16位にランク（エコノミスト誌・毎日新聞社）されております。

これもひとえに地域産業界の力強いご支援と産学交流の賜物と心より感謝申しあげ、さらなる産学交流の進展を願うものであります。

本学を取り囲む環境は、18歳人口の減少に伴う大学全入時代に加え、規制緩和による大学定員増加という厳しい競争の中にありますが、今春から新たな「夢と魅力ある学園づくり」を目指した中期計画をスタートさせます。皆さま方からのご支援とご期待にお応えできるよう教職員一体となって努力してまいりますので、今後ともご指導ご愛顧をお願いいたします。

■ 編集後記

本学の受験生数の推移を見るとき、とりわけ学科ごとの推移を見るとき、産業構造の変化が読み取れる。

受験生は、進学しようとする学科の選択にあたって、卒業時の就職先を思い浮かべるものと思われる。受験生が描く業種ごとの将来予測は、比較的短期間の予測であるといわれている。すなわち卒業時の就職のしやすさである。従って、受験生数の推移が、産業界の長期的な将来と直結しないことも多いと思われるが、変化の兆しを敏感に捉える一つの指標であることは確かであろう。

今回、「企業を訪ねて」で取り上げさせて頂いた2社はともに、確かな時代の先読みと、自社の置かれた環境の分析とにより、新たな道を切り開いてこられた。

地域産学交流センターの委員も改編のときを迎えたが、本小冊子が、さらに発展して時代を読む道しるべとなることを期待している。

■ 地域産学交流センター連絡先

〒945-1195 新潟県柏崎市藤橋1719
新潟工科大学内
TEL: 0257-22-8111 (真貝 知)
FAX: 0257-22-8112
E-mail: soumu@adm.niit.ac.jp